

# 県政のそと

## 戦災と天災越えた建設譜

火と水と風と、それに泥まで加えた災害のあと、復旧から建設へと歩んできた十余年の難路はなお続く。奮起一番の時。

## 五家荘今なら平家苦勞せず

つい最近まで人外境のようにいわれたが林道開通で車馬も自由。文化の風が吹き通るにつれ今度は悪風に染まぬ用心。

## 夏休み親はかえつて忙しい

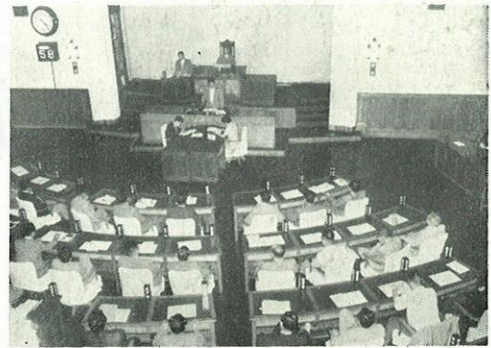
宿題を押しつけられるだけでなく、一日中目が放されぬいたずらには今更ながら学校のありがたさがわかるというもの。

## 農家では親しみすぎる自然なり

自然に親しむ厚生運動もレクリエーションとして役立つのでなければ農家には無縁である。多忙の中に憩いの一時を。

## 農薬は人に効かせるものでなし

申すまでもなく害虫駆除に使う。それを未だに取扱い不十分で死んだり自殺に使う不心得者がいたり困った次第。



— 写真は議場スナップ —

## 定例県議会開かる……★

地方選挙後初の定例県議会がさる六月二十二日から開かれました。会期は七月

# 新生カキヤン

キョキンの巻  
連載マンガ4



八日まで。

主な提出議案は、

- 1 昭和三十四年度県予算案
- 2 熊本県局部設置条例の一部を改正する条例案
- 3 その他 となつています。

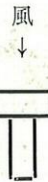
## 水害にヘリコプター

被害地での注意

いよいよ雨季をむかえて水害のおそれも多くなりましたので、県では自衛隊にお願いして、いざという時は飛行機の救援を乞うことになりました。そのうちヘリコプターについては左のとおりご注意下さい。

1、発着は八〇米平方の平地で、周囲に五米以上の障害物のないことが大

## 編集室から



風 ↓

★むし暑い梅雨くもりです。三人のスタッフで今やつと校正が終つたところ。ほつとしています。★六月号にはたくさんのお便りを頂きました。反響のあることはうれしいことです。どうぞこの上ともよろしく。(六、二三)